日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会 水化学管理分科
会 第78回 PWR水化学管理指針作業会 議事録

1. 日 時 : 2024 年 3月 29 日 (金) 13:30 ~ 14:10

2. 場 所 : WebexによるWeb会議

3. 出席者 (順不同、敬称略)

委員) 中野 (信)、荘田、宮永、大橋、山本、長嶺、三島 (梅木代理)、梅原、柴田、
中野 (佑) ^記 以上 10名
常時参加者) 長谷川、東、前田 以上 3名
オブザーバー) 佐藤、一丸 以上 2名

4. 配布資料

P11PWG-78-0 議事次第
P11PWG-78-1 第77回PWR水化学管理指針作業会議事録 (案)
P11PWG-78-2-1 水化学管理指針の改訂内容検討結果説明 (ほう素)
P11PWG-78-2-2 水化学管理指針の改訂内容検討結果説明 (亜鉛注入)

5. 議事要旨

(1) 出席者確認

宮永幹事より出席者の確認があった。委員10名の出席を確認し、7人以上の定足数を満足していることから、本作業会は成立することが確認された。

(2) 前回議事録確認

宮永幹事より、資料「P11PWG78-1_第77回PWR水化学管理指針作業会議事録(案)」について確認があった。出席者からのコメント・修正は無し。

(3) 水化学管理指針の改定内容検討 (ほう素)

佐藤氏より、資料P11PWG-78-2-1「水化学管理指針の改訂内容検討結果説明 (ほう素)」に基づき、前回作業会及び分科会での議論を踏まえたほう素の測定頻度等に係る改定案が提示された。

改定案では、測定頻度を「プラントごと」とすることについて、非安全側ではないことを補足するために「設定の考え方」の記載を見直し、pH管理に係るリチウムイオン濃度測定との関係性や停止起動時における厳密な管理要求を踏まえた記載とすることが示された。

審議の結果、起動時の「設定の考え方」記載について、“リチウムイオンの測定に合わせて実施する”としているものの当該期間のリチウムイオン濃度の測定頻度が1回と規定されていることからリチウムイオンの測定頻度や設定の考え方との整合を図ることとなった（リチウムイオン側の記載見直しも含む）。なお、こちらの見直しについてはメール等で確認した後、可能な限り次回分科会資料に反映させることとした。

(4) 水化学管理指針の改定内容検討（亜鉛注入）

宮永幹事より、資料P11PWG-78-2-2「水化学管理指針の改訂内容検討結果説明（亜鉛注入）」に基づき、亜鉛注入の管理について、「改良水化学適用時」の項目を削除し、「通常運転時」の制御項目に亜鉛を追加するとともに“低濃度”の表現を削除する案が提示された。この案については特に異論なく了承され、一部表現が残っている箇所の修正を行った後、次回の分科会にて審議する。

(5) その他

中野主査より、分科会の河村主査から説明があった原子力安全文化の考え方を指針の前書きに記載することについて、前回作業会時の説明内容から記載が変更されており、次回の分科会にて電中研宇井氏より説明がなされる旨周知された。また、この説明については、分科会委員・常時参加者以外も作業会メンバーとして聴講すべき内容であることからオブザーバー参加を希望する場合は4月4日までに中野主査に連絡することとなった。

以 上